春秋会２０２６年度　第７回幹事会

日時：１０月１９日（月）正午～１３時

場所：Zoom ミーティング

≪議事の内容（予定）≫

１【決議】次年度幹事長の推薦（松井淑子会員・５１期／会則第５条第３項）

２【決議】１２月総会招集の件

日時：１２月２１日（月）１８時～　場所：大阪弁護士会２階＋Zoom

議題：（１）副会長候補（中西基会員）の推薦

（２）次年度幹事長（松井淑子会員）の選任

３　新入会員の報告

４　会費免除の報告

５　各委員会等からの活動報告／選考、政策、広報、研修、親睦、若手会

６　大弁会務報告

７　各期幹事選任細則改正の件

８　各種行事の案内

春秋会幹事会報告〔10 月 19 日〕

副会長　中　森　俊　久

第１　求意見

弁護士のメンタルヘルスの維持、会派への入会率を高めていく方法

第２　課題について

１　当番・国選弁護制度の維持★新規登録要件
２　特定公益活動について
３　会務活動の一部有償化への動き
４　５つの特別会計の廃止へ向けた動き
５　会財政の健全化★公益活動積立金
６　弁護士へのサポートについて
７　弁護士の雇用契約書・業務委託契約書の作成★契約書案、ひまわり求人サイト
８　女性弁護士と男性弁護士の収入格差の解消に向けた動き★夫婦別姓総会決議
９　専門性の習得・周知に向けた動き
１０　設備・清掃・営繕・警備・受付など会館関係
１１　委員会活動の周知、実績の書籍化
１２　裁判のＩＴ化への対応★ハガキ
１３　内部監査★

第３　予定等

10 月 20 日　大阪弁護士会臨時総会
10 月 22 日　八尾市との災害時相談業務に関する協定書調印式
10 月 27 日　「知的財産劇場セミナー2026 第１回　ストーリーで学ぶ！商標があなたのブランドを発展助成する～商標入門～」
10 月 31 日　「障害のある子どもの就園・就学相談会～子どもが安心して自分らしく学び、過ごすために～」
11 月 1 日～12 月 28 日　法律相談料 2000 円キャンペーン
11 月 14 日　大阪弁護士会「おおさか人権フェスタ」
11 月 17 日　大阪事業承継引継ぎ支援センター・日本政策金融公庫三者合同シンポジウム「安心・安全な M＆A を実現する地域連携シンポジウム」
11 月 23 日　大阪弁護士会大運動会（万博記念公園下の広場）
11 月 25 日　知的財産シンポジウム「応用美術の保護のあり方－TRIPP TRAPP 最高裁判決を踏まえて－」
11 月 30 日　裁判傍聴会『「裁判」ってなんだろう』
12 月 11 日　近弁連人権擁護大会（奈良市）

以上

（１）社会問題の解決に寄与する。

（２）自治体連携

同問題を課題とする行政に対して、自治体職員向けセミナーを開催するなど情報提供を行うとともに、各自治体の空家協議会の委員の推薦、及び相続財産清算人等の選任申立代理人、法律相談、問題分析の支援などの業務の推薦依頼を受けるなど、行政連携を図り、弁護士業務に資する成果を得ている。

（３）大阪家庭裁判所および大阪地方裁判所との協議

また、相続財産清算人等の業務遂行が円滑に行われるために上記裁判所と協議を行い、マニュアル本の作成、相続財産清算人等候補者の研修・名簿の作成、自治体申立てを容易にするための予納金の協議などを行った。

以上のように、上記プロジェクトチームは、社会問題の解決に寄与し、その結果、弁護士業務の拡大にも資する活動を行っている。

今後とも、弁護士会は、空き家問題同様に、社会問題の解決に寄与し、その結果、弁護士業務の拡大にも資する活動を行っていくべきである。

第５回　大阪弁護士会における会員サポートに関する諸制度

実施日　2025年8月1日

はじめに

～弁護士会が会員サポートに取り組む理由

■ 講師の思い

弁護士の仕事はタフな仕事である。ひとりで悩みを抱え込みがちである。大阪弁護士会ではさまざまな会員サポートを用意して、ひとりひとりの会員をサポートしていきたいと考えている。残念ながら会員による不祥事がなくならないが、横領や事件放置といった不祥事の背景には、会員のメンタルヘルスの問題があることが多い。これを放置すれば、弁護士会や弁護士への信頼に傷がつくことになる。弁護士会が会員サポートに力を入れる必要性は高い。

■ 会員サポートお品書き

会員が利用できる各種サポートが、「会員サポートお品書き」にまとめられている。大阪弁護士会の会員専用サイトで入手できる。

■ 弁護士のためのメンタルヘルスの手引き

講師の研修資料をもとに2024年12月に作られた冊子である。今はメンタルヘルスにそれほど不安を感じていない会員もぜひ手に取って開いてみてもらいたい。

第１

相　談　窓　口

ひとりひとりの会員の悩みに対処するための相談プログラムがいくつか用意されている。

１　会員サポート窓口

目的･概要　会員サポート窓口は、弁護士会から嘱託されたサポート相談員が、会員からの各種相談に乗る制度である。会員の職務・業務に関して生じた問題について、サポート相談員が相談に応じることによって、会員の職務・業務が円滑に適切に行われることをサポートすることを目的としている。

サポート相談員　弁護士経験５年以上の会員で、現在35名（30期～64期）。月刊大阪弁護士会や弁護士会のホームページの会員専用サイトに氏名、期、対応可能分野、連絡先等が掲載されている。

相談できる内容　職務・業務に関して生じた各種の問題と幅広くなっている（ただし、個別の事件処理に関する法律相談や、資格審査会に係属中の事案、懲戒（綱紀調査を含む）の手続に付された事案、紛議調停委員会に係属中の事案、法七十二条等問題委員会において調査手続に付

された事案等は除く)。

相談できる人　会員はもちろん、会員の親族や法律事務所の事務職員が相談を申し出ることができる。亡くなられた会員の親族、事務職員でもよい。

相談の受付　相談したい人は、大阪弁護士会の事務局長（電話番号や専用メールアドレスが公開されている）に申し出るか、直接、サポート相談員に連絡して相談を受けることもできる。

秘密の保持　サポート相談員は、相談申出人及び会員の氏名、事務所名、相談の内容等について、守秘義務を負っている。ただし、相談の内容が重大な非行に該当するときや、非行による被害が拡大するおそれが明白であるときは、相談申出人に通知の上、その旨を会長に報告することができる。

サポート相談員に対するサポート体制　意見交換会や、厚生・会員サポート委員会の会員サポート相談部会、メーリングリストでの情報交換を実施している。

実績　2022年度16件、2023年度30件、2024年度21件

2　ハラスメント等に関する苦情相談及び調査手続

目的・概要　会員からハラスメント等(性を理由とする差別的取扱い、セクシャルハラスメント又はパワーハラスメントに該当する言動をすること）を受けた者は、相談員に対して苦情の申立及び相談をすることができる。必要に応じて、調査委員会が設置され、調査結果の報告を受けて指導、要請、綱紀委員会の事案の調査が行われることもある。

相談員　ハラスメント等に関する専門的知識を有する会員や所定の相談員研修を受けた会員の中から、常議員会で選任される。現在、39名(30期～64期）が選ばれている。相談員名簿が、大阪弁護士会ホームページ、会員専用サイト、管内のトイレ洗面台等への備え付けにて公開されている。

調査委員会による調査手続　会長は、相談員からの報告を受けたとき又はハラスメント等があること若しくはその疑いがあることを知ったときは、必要に応じて、調査委員会を設置し、調査させることができる。調査委員会は相談員名簿から選任された3人の調査委員で構成される。調査委員会は調査を行い、当該ハラスメント等の有無、内容及び弁護士会の対応についての意見を会長に報告する。

会長の対応　会長は、ハラスメント等をしたと認められる会員を指導する。必要があると認めるときは、ハラスメント等をしたと認められる会員が所属する事務所の他の弁護士、弁護士法人に対し、ハラスメント等に起因する問題の防止及び解決のための対処等を要請することができる。また、ハラスメント等をしたと認められる会員に対し、必要があると認めるときは、懲戒の手続に付し、綱紀委員会に事案の調査を命じる。

3　メンタルヘルス相談（大阪弁護士協同組合）

概要　臨床心理士によるココロのもやもや相談（メンタルヘルス相談）が受けられる。大阪弁護士協同組合が実施している。電話による相談と、直接面談して行われる相談がある。

電話相談　初回（1時間）は無料、2回目以降は5000円（税込）

面談相談　初回（1時間）は無料、2回目以降は8000円（税込）

受付方法　臨床心理士につながる電話番号が月刊大阪弁護士会、会員専用サイトで公開されている。毎日（土日も可）10時～20時。面談申込専用アドレスへの申込みもでき、追って臨床心理士から電話がある。

4　メンタルヘルス相談　（日本弁護士連合会）

概要　カウンセラーによるカウンセリングが受けられる。電話相談(無料)、面談による相談(年間5回まで無料)、Ｗｅｂ相談（1案件につき、カウンセラーからの返信3回まで可。無料）

受付方法　日弁連メンタルヘルスカウンセリング専用電話(0120-556-919)が設けられている。

5　各種メーリングリストでの相談

弁護士会の各種委員会が運営主体となっているメーリングリストがある。

- 子育てメーリングリスト（男女共同参画推進本部）
- 刑事弁護研修メーリングリスト（刑事弁護委員会）
- あおぞらメーリングリスト（高齢者・障害者総合支援センター運営委員会）
- その他

第２

会員職務適正化支援制度

目的・概要　特定の会員について、事件放置等、市民から苦情や要望が寄せられたことをきかっけとして、支援を行うことが相当と認められる場合に、「会員職務適正化支援特別嘱託」弁護士に委嘱して、会員に寄り添って支援し円滑な事件処理を確保する制度である。自らの意思で支援にたどり着けない会員にも支援の手を差し伸べ、不祥事案等に陥ることを防止することが期待できる。

特徴　会員サポート相談による相談は単発での対応になるが、会員職務適正化支援制度では、継続的に対応することができる。

第３

業務引受支援制度

目的・概要　会員が死亡、行方不明または心身の故障により、受任事件を処理することが不可能又は著しく困難となった場合に、会長が「引受支援弁護士」（受任事件の引受を支援する会員（わかりやすく「手配師」と呼ばれることもある）を選任し、大阪弁護士会法律相談センターが同センターの規程に基づき、「業務引受弁護士」（対象会員の受任事件を受任する弁護士）を紹介すること等の措置を講ずることにより、本会に対する市民の信頼の維持向上に資することを目的とする。このような制度が設けられた背景には、会員数の増加、業務体制の多様化等により、従来行われていた、同期や出身事務所の関係者によるボランティアでの支援が期待できなくなりつつあるとの事情もある。

支援の方法　予め業務引受弁護士名簿（弁護士経験３年以上）を作成しておき、引受支援弁護士が、名簿の中から業務引受弁護士の候補者を推薦する。法律相談センターが、同候補者に事件を紹介する。弁護士紹介を受けた業務引受弁護士候補者に受任義務はない。依頼者と話をしたうえで、委任契約を締結する。なお、委任契約書には、対象会員の委任契約を承継するものではなく、また、預り金等の権利義務関係も承継しないこと等が記載される。

引受弁護士の職務・任期・報酬等　引受弁護士は、業務引受弁護士の法律相談センターへの推薦その他必要な様々な職務を行うものとされ、任期は２年で、報酬が支給される。

業務引受弁護士の報酬　依頼者には着手金の二重払いをさせないことを原則としている。最終的に、業務引受弁護士が依頼者から得た着手金及び報酬金等が、法テラス基準の着手金及び報酬金の合計額に満たない場合はその差額を、弁護士会に対して「支援金」として支給を申請することができる。

第４

新人弁護士、新人独立弁護士等への支援

1　新人弁護士グループ別交流会

目的・概要　新人弁護士を20名程度のグループに分け、交流会を開催する。

交流会　２時間で家族法ゼミ、模擬法律相談、大阪地裁裁判官による研修会を、年３回開催している。終了後は懇親会を開催し、新人弁護士の飲食代は弁護士会が負担する。新人弁護士には参加義務がある。

2　新人独立弁護士等指導委託制度

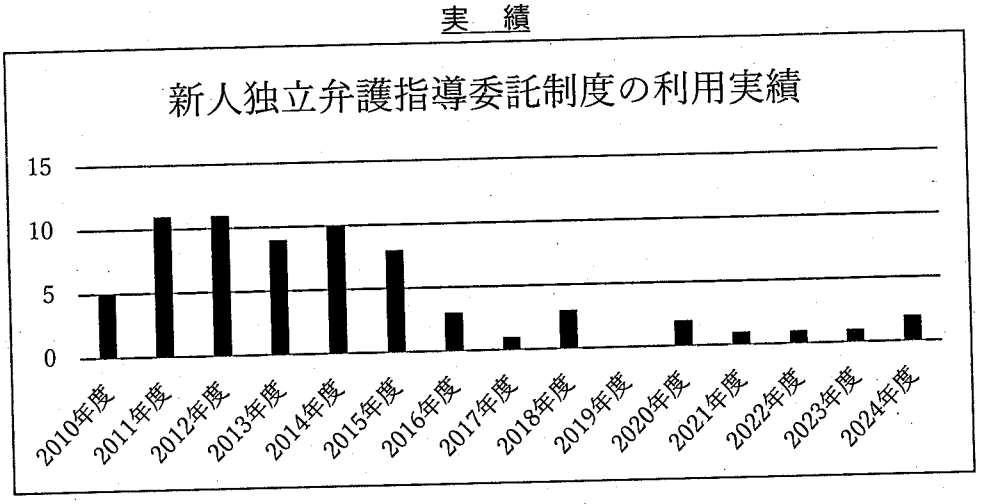
目的・概要　登録後まもなく独立する弁護士は、同じ事務所の先輩弁護士から指導を受ける機会が得られないことが多い。そこで、登録２年目までの弁護士が独立するときに希望により先輩弁護士から指導を受けられるようにする。

指導委託制度　新人独立弁護士等の希望により、会長は支援担当弁護士に、法律相談、事件処理等についての指導を委託する。

委託期間　原則６か月間、６か月の範囲で期間延

長することができる。

実　績



第5

マッチング支援

1　弁護士募集カード

概要　後継者、共同経営者、経費のみ共同の共同経営者、勤務弁護士等の募集を希望する大阪弁護士会の会員から所定の「弁護士募集カード」の提出を受け、弁護士会館の所定事務局（8階企画二課）において閲覧に供する他、弁護士会の会員専用サイトでも公開されている。

2　求職者カード

概要　会員の所属事務所への就職(転職を含む)を希望する司法修習生、司法修習修了者又は弁護士(当会会員に限らない)からの所定の「求職者カード」の提出を受け、事務局において閲覧に供する。

3　注意点

いずれの制度も、当会として就職をあっせんするものではない。

第6

その他

1　休職中等の弁護士業務支援制度

概要　疾病、出産、育児又は介護のため休業や業務の縮小を図る際に、受任中の事件を他の弁護士に有償で引き継いでもらう制度。支援会員名簿の中から、依頼したい弁護士を選び、引継条件等を協議のうえ、事件を引き継いでもらうことができる。

2　弁護士業務妨害事件への支援活動

概要　「依頼者からの無理な要求を拒否すると、しつこく懲戒請求などをちらつかせる」、「メールや手紙、電話等で暴言や脅迫を受けている」などの業務妨害を受けた場合、民事介入暴力及び弁護士業務妨害対策委員会に支援要請することができる。

実績　2024年度6件（うち、支援決定されたものが1件）

第7

セーフティネット

1　副会長の役割

市民相談窓口から上がって来る相談内容から会員がトラブルを抱えていることがわかることがある。副会長がきめ細やかに対応している。

2　会派・同期その他のつながり

大阪弁護士会からの働きかけだけではなく、会派や同期とのつながりが大切である。

第8

悩　み

■ 会員自身からの要請がない場合のサポートは難しい。

■ 不祥事を防ぐための網羅的な取り組み

昨今多い不祥事に事件放置があるが、研修やサポート情報の周知で改善を図っていくしかない。横領の問題については、預り金の扱いについて掘り下げて検討することや、懲戒制度を通じてのより厳しい対応の検討が必要である。一方で、懲戒の可否の判断については、懲戒委員会独立の原則があり、執行部の意向が直接反映するものでもない。何らかの規則やルール、ガイダンスを設けることも考えられるのではないか。

■ 出産、子育て支援が不足しているのではないか

弁護士は個人事業主であるとして社会保険に加入していない者が多く、一般の会社の従業員では受けられる出産・子育て支援が受けられていない。何らかの支援制度を設けることはできないか。

■ 組織内弁護士への紹介制度

弁護士として有能でも、経営者には向いていない者もいる。社内弁護士に紹介するような制度があってもよいのではないか。昨今はインハウスとして働く弁護士も増えているが、会員にもっと周知してはどうか。その他、一定の業務だけフリーランス的に引き受ける制度や、繁忙期のみ勤務する制度なども討してはどうか。

第9

ま と め

我々の仕事は、往々にして困難な事例に当たることから、誰においても、心身の健康を損なう可能性が存する。

また、収入が安定しておらず、その経営に行き詰まることもある。

さらに、多くの弁護士は個人事業主であり、社会保険、雇用保険、厚生年金が適用されず、ほとんどの場合、仕事を辞めた場合の退職金もない。

従って、弁護士は弁護士としての同資格をもって生活していけるとの側面はあるがそれだけでは十分でなく、前述したように、むしろ他の業界に比して、生活基盤が不安定と言っても過言ではない。

他方、弁護士は基本的人権と社会正義を守る使命を帯びているので、常に、多くの若者が希望すべき業界でなくてはならない。

しかしながら、生活基盤が安定していなければ、選ばれる業界とはなりえない。

そこで、弁護士の業務基盤の確保に引きつづき努めるとともに、大阪弁護士協同組合の協力を得るなどして、弁護士の生活基盤の安定の方策の検討や安定した生活基盤確保のための啓発、及び心身の故障が生じたときの更なる支援制度の構築などに取り組む必要があると考えられる。

第6回　企業不祥事対応と弁護士

実施日　2025年8月7日

第1

企業不祥事対応の歴史

1993年の商法改正により株主代表訴訟の手数料額の低減化が図られ、政治献金問題、総会屋への利益供与などの企業不祥事に対して株主代表訴訟というツールで「企業の常識」と「市民の常識」を問おうとされたのは、当会の故阪口徳雄弁護士である（2025年4月24日ご逝去）。阪口弁護士は、全国に先駆けて、大阪の弁護士、公認会計士、学者を中心に「株主オンブズマン」と立ち上げ、企業不祥事を起こした企業の役員の法的責任を追及し、数々の勝訴判決や勝訴的和解によって、市民の立場から企業等のコンプライアンス問題を変革されたといえる。

２０２６（令和８）年度　春秋会政策委員会
日時：　2026.10.5　12:15～13:00
場所：　zoom＋北大阪総合法律事務所
出席：　岩本、上田、林、松村、中西

＜審議事項＞
１．第２回企画　12 月２日（水）18:00～　@1205 号室
（テーマ）会財政健全性検証・対策 PT 報告書を読む

・チラシの確定
　→ML に投稿（中西）
　→他会派への案内（高江幹事長に依頼する・中西）
・当日の進行について
　会財政 PT 報告書を分担して報告する
　　①会館
　　②情報
　　③相談 C
　　④その他支出
　　⑤収入
　　⑥総括
　土谷先生のコメント
　意見交換
・各論点ごとに意見交換・討論をするにあたっての進め方をどうするか
　　③相談 C に絞って議論する。
　　来館相談の廃止？
　　相談 C の役割
　　弁護士会として法律相談の位置づけ
　グーグルフォームでの事前アンケート＋個別に意見を聴く機会をもつ。
・当日の役割分担
　講師謝礼の準備（中西）
　お水（報告者＿＿名＋土谷先生）
　Zoom 配信担当
　司会
・懇親会　　南さんに依頼する

次回以降の日程　　１１／２（月）、１２／２（水）

春秋会・政策委員会シンポジウム

「会財政の健全性検証・対策PT」報告書を読む

「会財政の健全性検証・対策PT」は、
大阪弁護士会の将来的な会財政健全性の確保・維持を検証し、その対策を検討するために設置され、主な施策や前提ごとに、将来の収入・支出のシミュレーションを行い、今般、その報告書が取りまとめられました。
今回のシンポジウムでは、報告書で取り上げられた以下の5つの論点ごとに、報告書で示されたシミュレーションを共有したうえで、意見交換を行います。

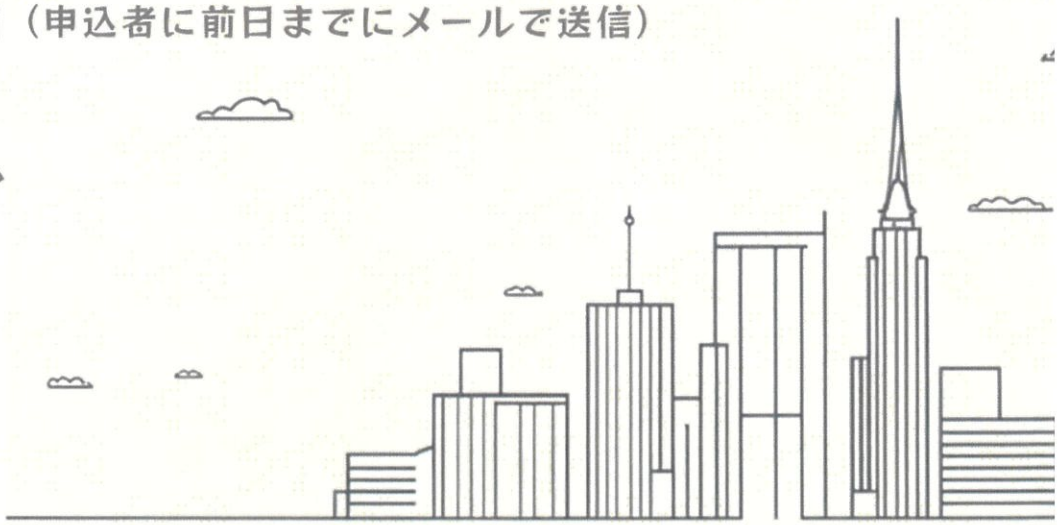
①会館関連費用（修繕・保守）
②情報関連費用（IT・基幹システム）
③総合法律相談センター関連費用
④その他支出（人件費など）
⑤収入・資産（会費減免など）

当日は、PT副座長である土谷喜輝さん（法友倶楽部）にもご参加いただき、報告書の内容について補足・コメントをしていただく予定です。

日時：2026年12月2日（水）18:00～20:00

場所：大阪弁護士会館1205号室
Zoom併用（申込者に前日までにメールで送信）

参加申込フォーム



連絡先:06-6365-1132
春秋会・政策委員会　弁護士中西基

１０月度春秋会広報委員会　議題

令和８年10月13日　18時30分～
リアル会場:梅ヶ枝中央法律事務所

１　今後の委員会日程（確認）

● 毎月１０日、休日の場合は翌営業日
１１月１０日（火）、１２月１０日（木）、１月１２日（火）、２月１０日（水）、
３月１０日（水）

２　ニュースレター（確認）

１１月発行号　　神澤さん
１月発行号　　山崎さん
３月発行号　　亀岡さん

● １１月発行号、内容確認
ア　島めぐり、広瀬書いてもいい。明日から、八丈島。→掲載
イ　執行部だより：北本先生（川崎副幹事長から依頼済）
ウ　研修：10/27 春秋の日→広瀬委員長が室谷委員長に依頼
エ　若手：10/6 野球→久井が誰かに頼む
オ　親睦：地曳網、広瀬から上杉委員長連絡済。
以上？
カ　行事予告
・新人歓迎旅行
・サバゲー
・競馬観戦（12/5）

３　会報１１５号（秋号）について

● 印刷版希望者４名、レタケ投函すみ。弁護士会２０部配布済。
● 他の進捗状況は？

４　会報１１６号（春号）について　3/25リリース

・新旧役員挨拶（旧役員は1/15〆、新役員は〆1月末）
・政策委員会系　特集１
・広報独自取材　特集２（〆2/25〆）
・新人歓迎旅行　特集３（親睦委員会に発注）
・名簿
・編集後記

5　検討事項

(1) ゆるゆるゴルフの日程は、10/17 で決定

(2) 電車企画：静岡取材が終わってからでいいですか？

(3) 印刷版ＰＴについての対応

(4) 春号取材先

(5) 予算執行状況の確認

ア	秋号ジーワン支払	850,200
イ	秋号環境ムーブ支払	71,610
ウ	秋号キンコーズ支払	175,692
エ	秋号取材費	319,986
オ	ドメイン費用	1,771
合計		1,419,250

【参考】年間予算　2,830,000

(6) ニュースレターの執行部だより

11 月北本先生、1 月横瀬先生、3 月米田先生

以上

研修委員会議事録（第６回）

２０２６年１０月５日（月）正午　Ｚｏｏｍ

春秋会研修委員長　室谷光一郎

１　出席者

黒田、飯島、松本、繁松、米田、清水、那須、池本、室谷

２　春秋の日

木内先生で確定

内容について

日時：１０月２７日（火）１７時３０分@パーティースペース Largo 中之島

最初の４０分程度が木内先生からの講演、１時間程度が懇談、２０分程度が質疑応答

担当：清水先生、松本先生、山本先生、池本先生、松井先生、繁松先生（司会）、室谷

費用：５８期以上８０００円、５９期～６８期５０００円、６９期～７３期２０００円

７４期以下無料　空欄領収書を用意

人数：４０名（１０月５日段階　３２名）

チラシ作成（松井先生）　ＭＬ１０月５日、１３日発信予定

進行関係を決定　清水先生叩き台作成（９月末）

締切：１０月１６日（金）

司会：繁松先生

挨拶：最初　高江幹事長　最後　室谷

資料コピー：室谷

会費関係：室谷

受付：那須先生

写真：池本先生

広報原稿：松井先生

アンケート：清水先生　当日アンケート：室谷

３　第４回以降研修会候補

あと１回を行う予定（２月～３月）と新会員を惹きつける企画（４月～５月）

峯本先生関係の教育現、場情報漏洩、未成年のＳＮＳ利用（今井先生）

ヒヤリハット（若手が登録してしばらくしてからが効果的）

フェイク動画の見分け方、ＳＮＳとの関係（那須先生）

梅の宿酒造（清水先生）　コストが少し悩ましい

靴磨き（今井先生、清水先生、秋谷先生）

税務の基本知識（離婚、相続等）（今井先生）

室谷がテレビ番組監修の経験を話す

民法山本先生講演会（池本先生）単位認定（２０２７年３月か？）

→研修センターにつなぐかどうか検討（飯島先生、池本先生）

講演・セミナー等のトークスキル（永井先生、長尾先生）

営業スキル（秋谷先生）

4　今後の予定

１１月１６日（月）、１２月７日（月）、１月１２日（火）、２月１５日（月）、３月１５日（月）

いずれも正午～ウェブ

以上

2026年度第７回親睦委員会

開催日時：令和８年１０月１６日（金）18時00分～
会場：梅ヶ枝中央法律事務所３階大会議室・Zoom接続によるハイブリッド開催
参加者：（敬称略、順不同）

第１　新人歓迎旅行
　１　決定事項
・行き先：鹿児島県
・日程：11/28（土）～11/29（日）
　※旅程詳細については追って確定予定（なもののほぼ確定）
　　【現在の暫定旅程】
　　１日目　９時：伊丹発
　　→１１時：鹿児島空港着
　　→１２時：鹿児島市内で昼食
　　→１４時：明治蔵にて焼酎の工場見学
　　→１６時：白水館到着
　　→１８時頃：宴会開始
　　２日目　１０時：旅館発
　　→１１時３０分：仙巌園
　　→１３時：鹿児島市内で昼食
　　→～１７時頃：フリータイム観光
　　→１９時：鹿児島空港発
　　→２０時３０分：伊丹空港着
・参加費
　※補助が出る範囲を前提に、以下の金額にて決定。
　【参加費】
　基本参加費：１１万円
　７５期～７７期：８万円（登録２～４年目は補助金３万円）
　新人：無料
　２　要決定事項
　バス内・宴会時の演目

第２　その他企画
　１　当選祝賀会＆新年会（担当：杉野）
　日時：1月22日（金）19時00分～（会場受付：18時30分～）を予定
　会場については昨年度のラグナヴェール（個別サーブ方式）にて一旦検討を進める

※会場に対して連絡していく
担当情報：株式会社エスクリ
パーティハンター（ハンター？）事業部
辻村　彩可(Sayaka Tsujimura)
〒530-0004
大阪府大阪市北区堂島浜 1 丁目 3-23
TEL：070-1568-4348
E-Mail：sayaka-tsujimura@escrit.jp

2　ワインの夕べ（担当：森田）
日時：12 月 9 日（水）にて確定
受付・開始時間・会場人数について要確認
会場：「リーガロイヤルホテル　リモネ」を予定

3　ディティクティブ X 第三弾（担当：田村）
日時：来年 2 月頃を予定（日程・会場を決めてしまう）。
開催方式共に検討を進める（※基本は昨年踏襲）。

4　BBQ&キャンプ（担当：上杉）
日時：3/20（土）　-　3/21（日）
会場：会場を確定
※　夕方頃から BBQ をしつつ、希望者はそのままキャンプにて宿泊

第 3　本年度親睦企画一覧表

企画	実施予定日	主担当	副担当
新人歓迎旅行	11/28（土）- 11/29（日）	鈴木	上杉
当選祝賀会＆新年会	1/22（金）	杉野	未定
ワインの夕べ	12/9（水）	森田	富井
ディティクティブ X	2 月頃を予定	田村	未定
BBQ&キャンプ	3/20（土）- 3/21（日）	上杉	未定

第 4　本年度の親睦委員会
第 8 回　11 月 6 日（金）　⇔　新人歓迎旅行
第 9 回　12 月 4 日（金）　⇔　ワインの夕べ

第10回　1月15日（金）　⇔　当選祝賀会＆新年会
第11回　2月12日（金）　⇔　ディティクティブX
第12回　3月12日（金）　⇔　BBQ＆キャンプ企画

以上

令和８年度若手会世話役打ち合わせ（１０月）

令和８年１０月６日

参加者：富井、北本、宮崎、徳山、久井、中村、松田

１　これまでの年間スケジュール

・追いコン兼新人歓迎会（４月３０日）
　→４０名以上（新人２２名）の参加で大盛況。
・ビジネスマナー研修（５月２０日）
　→研修委員会との共催
・浦先生破産研修（６月４日）
　→新人弁護士１９名が参加
・GVA　TECH 企画（７月９日）
　→研修員会と共催。参加者４１名。
・BBQ（８月４日）
　→参加１９名。新人も多数参加してもらった。
・サマーフェス（８月２８日）
　→親睦委員会との協賛
・浦先生破産研修（１０月１日）
→管財事件を中心に実施　参加者１０名
・甲子園野球観戦企画（１０月６日）
→ローソンデッキシートにて、参加者１２名

２　三会派合同イベント（担当中村）

法友、法曹同志会との三会派でサバイバルゲームと懇親会
日時：１１月１３日　１８時スタート
場所：ブレイブポイント江坂店
春秋会の役割：懇親会（富井が店予約）
→春秋会の参加者が少ないので、LINE とメーリスで再告知

3　忘年会企画（担当富井、副杉野）

日時：１２月５日

競馬企画　お昼ごろ～（フリーパスの日なので費用負担なし）

グループルーム（最大１６名まで利用可能）

→抽選なので大勢で頑張る

忘年会　　１７時頃～（甲東園 or 仁川）

→近日中に LINE で告知（杉野）

4　今後の企画と担当者

・新年のイベント（担当徳山）

・会派対抗若手会ゴルフ（令和９年入ってから）

→各会派代表の LINE がようやく作成された

5　次回以降の世話役会議日程

１１月１０日（火）１２時～

１２月　５日（土）

春秋会　各期幹事　選任細則

（目的）

第１条　本細則は、会則第５条第５項に基づき、各期幹事として推薦する者を選出する手続を定めることを目的とする。

（所属期）

第２条　各期幹事は、次の基準による所属期ごとに推薦する。

①　修習生の過程を経た会員は、自己の修習期をその所属とする。ただし、次のアないしカに属する期の会員は、アないしカのとおりそれぞれ１つの期とみなす。

ア　２０期以前の期

イ　２１期ないし２３期

ウ　２４期ないし２６期

エ　２７期ないし２９期

オ　３０期ないし３２期

カ　３５期及び３６期

②　６０期以降の期については、新旧試験を区別せずに、合わせて１つの期とする。

③　修習生の過程を経ずに弁護士会へ登録した会員は、幹事会による承認の下で、自己の希望により、①のいずれかに加入するか、あるいは特別期を構成するのかの選択をする。

（推薦の方法）

第３条　各期幹事は、毎年１月末日までに、同じ所属期に属する会員のうち、次の年度に各期幹事となるべき候補者を 推薦して、幹事長に届け出なければならない。ただし、前記期日までに候補者の推薦届出がされない場合、幹事長に候補者の推薦を一任したものとみなす。

２　前項により推薦する人数は、所属期の会員が１３名以下のときは１名、１４名以上２７名以下のときは２名、２８名以上のときは３名とする。ただし、前条第１号ただし書の場合は、１名の推薦をもって足りるものとする。

３　前２項の推薦をするについては、所属期の会員が順次候補者に推薦されるよう配慮しなければならない。

附則

２条１項の改正規定は、２０２２年１２月２０日から施行する。

２０２０年3月１７日改正
２０２１年１１月２６日改正
２０２２年１２月２０日改正

9期
石川　元也
山口　伸六

11期
宇賀神　直
小林 つとむ

12期
川村　俊雄

13期
赤沢　敬之
小林　保夫
得津　正凞

14期
久保井 一匡
増井　俊雄

15期
滝井　朋子

17期
浜口　卯一

18期
青木　永光
石橋　一晃
熊野　勝之
林　　正明
山村　恒年

19期
徳田　　勝

20期
安木　　健

21期
大川　真郎
柴山　譽之
中山　嚴雄
平山　正和
三上　孝孜
宮﨑　　誠

22期
稲田 堅太郎
寺沢　勝子
戸谷　茂樹
山田　庸男

23期
伊勢谷 倍生
浦　　功
大江　洋一
豊川　義明
森野　俊彦

24期
蒲田　豊彦
島川　　勝
松森　　彬
丸山　哲男

25期
金子　武嗣
谷口　　進
松丸　　正
吉岡　良治

26期
大野　町子
島津　和博
津留崎 直美
出水　　順
中川　秀三
中川　泰夫
細川 喜子雄

27期
木内　道祥
齋藤　　浩
桜井　健雄
西枝　　攻
平栗　　勲
渡辺　和恵

28期
池田　啓倫
石田　法子
北本　修二

29期
伊賀　興一
芝原　明夫
平井　慶一
間瀬場　猛
水田　利裕
山口　健一

30期
上山　　勤
関根　幹雄
谷　智恵子
早川　光俊
松井　忠義

31期
齋藤 ともよ
正木 みどり
宮地　光子

32期
提中　良則
段林　和江
的場　俊介

33期
岩田 研二郎
岡崎　守延
河村　利行
坂田　宗彦
田窪　五朗
侘田 喜代隆
森下　　弘

34期
青本　悦男
岩永　惠子
梅田　章二
中井　康之
宮崎　裕二
宮崎　陽子
村松　昭夫

35期
国府　泰道
杉本　啓二

36期
長野 真一郎
西村　　健
福田　健次
松田　繁三
村本　武志
柳村　幸宏
山内　良治

37期
池谷　博行
加藤　安宏
空野　佳弘
徳井　義幸
原田　次郎

38期
飯田　和宏
岡村　久道
岡村　泰郎
田中　義信
長岡 麻寿恵
丹羽　雅雄
福森　亮二
増田　勝久
村上　久徳
森　　信雄
山﨑　敏彦
横山　精一

39期
井奥　圭介
池田　直樹
鎌田　幸夫
木村 圭二郎
下村　　泰
城塚　健之
杉本　吉史
田島　義久
濵岡　峰也

40期
市川　智
岩城　穣
中井　洋恵
西　晃
松田　成治
山西　美明
吉田　肇

41期
青木　佳史
秋田　仁志
秋田　真志
岩城　裕
黒瀬　英昭
佐井　利信
財前　昌和
巽　昌章
日高　清司
平野　惠稔
細見　孝二
松本　七哉
茂木　鉄平
吉田　之計
吉田　義弘

42期
加藤　高志
岸本 由起子
長添　節
峯本　耕治
村田　浩治
雪田　樹理

43期
池口　毅
浦川　義輝
菊元　成典
青海　利之
谷　英樹
中　紀人
宮下　尚幸

44期
井上　洋子
斎藤　英樹
松本　康之
湯川　健司

45期
李　義
宇賀神　徹
神山 公仁彦
河原林 昌樹
坂本　団
中嶋　弘
藤木　敏之
宮岡　寛
村井　潤

46期
飯島　奈絵
大久保 康弘
奥村　秀二
越尾　邦仁
小林　徹也
島尾　恵理
長尾　博史
野上　昌樹
平尾　宏紀

47期
井上　楸子
岩谷　基
岩本　朗
勝井　映子
黒田　愛
篠原　俊一
白出　博之
乗井　弥生
濵田　雄久
原野 早知子
眞継　寛子
江口　拓哉

48期
大川　治
岡本　岳
河原　誠
白倉　典武
高江　俊名
長澤　哲也
鍋本　裕之
林　邦彦
藤井　美江
堀内　康徳
村瀬　謙一

49期
伊加井 義弘
石原　真弓
伊藤　妙子
河野　豊
北岡　弘章
木村　重夫
佐藤　吉浩
杉島　幸生
田中　一郎
二宮　誠行
村上　博一
山本　健司
吉田　昌功
中村　和洋

50期
有村 とく子
上田　純
小川　和恵
小野　昌史
中島　宏治

51期
上出　恭子
尾崎　一浩
加藤　知徳
川上　良
河村　学
田中　史子
塚田　朋子
西村　勇作
松井　淑子
山本　淳
由良　尚文

52期
七堂　眞紀
高橋　徹
竹平　征吾
寺尾　浩
徳田　琢
中筋　利朗
中原　修
野村　祥子
平山　敏也
増田　尚
増田　広充
松本　智子
東　実一郎

53期
愛須　勝也
奥村　裕和
小関　伸吾
崎原　卓
中西　基
半田 みどり
吹矢　洋一
藤田 さえ子
松本　光右
牟禮　大介

54期
井上　耕史
大西　克彦
塩田　勲
鈴木　節男
南石　知哉
原　啓一郎

55期
石橋　徹也
今春　博
大江　祥雅
大前　治
甲斐 みなみ
清水　伸賢
山本 婦紗子
中森　俊久
西原　和彦

原　正和
飛岡 恵美子
三好　吉安
國本　依伸
稲吉　大輔

56 期
青砥　洋司
今井　力
植村　弘樹
尾形　信一
西念　京祐
橋本　智子
古本　剛之
森平　尚美

57 期
家郷　資大
宇都宮 一志
大森　剛
奥津　周
小野　順子
河合　順子
川島　裕理
小瀧　悦子
新村　守
菅野　園子
富山　聡子
東山　俊
藤木　達郎
堀川　智子
溝上　絢子
峯田　和子
宮本　剛
向井　啓介
角谷 洋一郎

58 期
奥田　愼吾
奥村　昌裕
唐﨑　浩司
熊谷　卓也
佐藤　俊
須井　康雄
中島　康之
中平　史
名波　大樹
林堂　佳子
山口　昌之
若松　薫
林　千賀子
越知　覚子

59 期
安達 友基子
浦　寛幸
奥田　昌宏
斉藤　紀代
十川 由紀子
田中　智晴
藤内　健吉
松尾　洋輔
間野　泰治
山室　匡史
吉岡 孝太郎
梁　栄文
渡邊　一誠

60 期
青木　重人
池本　順子
浦田　悠一
大久保 貴彦
岡本　大典
笠原　麻央
門松　真由
川口　哲生
川﨑　真陽
瓦井　剛司
木虎　孝之
木下　威英
金　英哲
河野　雄介
小坂 梨緑菜
佐々木　章
高田　真司
高橋　昌子
髙橋　礼雄
高橋　俊之
竹中　宏一
立野　嘉英
谷　真介
豊田　祐介
長瀬　信明
広瀬 元太郎
松尾　友寛
三上　岳
安木　志保
梁　龍成

61 期
東　尚吾
荒木 晋之介
石飛　優子
樫元　雄生
河合　基裕
川﨑　拓也
喜田　崇之
髙坂　明奈
下迫田 浩司
忠政　貴之
辰巳　創史
團野　彩子
林　弥生
弘川　欣絵
藤井　恭子
牧　亮太
松嶋　依子
宮下　泰彦
村田　充章
山元　真里
吉岡 良太郎
柳　勝久

62 期
足立　啓成
遠地　靖志
小野　俊介
片岡　牧
河田　智樹
具　良鈺
楠　晋一
黒田　佑輝
佐々木 和弘
柴山　英輝
舘　康祐
田端　孝規
中辻　大輔
中村 ちとせ
西川　大史
西田　敦
野矢　伴岳
福田　美紀
藤原　正人
藤原　航
星野　純子
舞弓　和宏
室谷 光一郎
室谷　悠子
森内　彩子
森川　順
森下　文恵
矢吹　遼子
矢吹　保博
山澤　祐介
横藪　達広
和田　香
柴山　慶太
和田　信也

63 期
池田　尚弘
岩佐　賢次
植木　和彦
氏家 真紀子
繁松　祐行
関戸　京子
高橋　早苗
田中　宏岳
福岡　洋一
福﨑　浩
藤原　智絵
山下　侑士
山中　有里

64 期
石原　浩史
犬飼　一博
岩田　和久
枝川　直美
角崎　恭子

小西　基皓
菰口　高志
佐々木 正博
杉田　哲明
染川　智子
中峯　将文
原田 隆之介
松本　昭人
宮本　亜紀
松森　美穂
岬　　宏美
渡部 真樹子

65 期
上田　浩史
牛尾　淳志
柏木　理沙
金子　哲也
黒田　祐史
古山　隼也
斎藤　亮太
齊藤　優摩
田積　祥子
中井　宏二
藤下　祥子
藤田　雄功
前川　宙貴
森　　瑛史
両角　麻子
安井 祐一郎
柳本　千恵
山田　寛子
横瀬　大輝
吉村　友香
檜山　智志
竹内　昭夫

片山　直弥
川添　達郎

66 期
飯田　亮真
馬越　俊佑
岡村　峰子
金　　星姫
清水　　周
眞並 万里江
杉田　峻介
津田　裕行
仲尾　育哉
橋本　太地
林　　祐樹
日裏　英憲
堀　　智弘
村上　秀人
森本　祐介
守田　　恵
柳　　知幸
鶴見　泰之
中村　和寛
和田　知彦

67 期
石田　明子
生田　博之
板﨑　　遼
上田　雅貴
奥野　祐希
小野　　宙
鍵田　佳成
河端　　直
木場　晶子
田村　　瞳

西川　満喜
西川　正樹
平林 佳江子
安原　邦博
柳本　哲享
稗田　隆史
細田　直人
櫻井　　聡
下枝　歩美
上杉　将文

68 期
網本　知晃
荒木　　誠
甲斐　一真
加藤　　卓
戀田　　剛
佐伯　紀明
清水　亮宏
瀬邉　祐司
塚井　一将
鶴山　昂介
手代木　啓
冨田　真平
前野　陽平
高山　竜嗣
吉留　　慧
渡邉　春菜
西田　陽子
岸　　朋弘

69 期
池田　健人
今井　綾香
大久保 貴則
髙　　一成

関　　大河
城島　　活
中原　大雄
西川　裕也
別所　大樹
松本　伶美
山上　　誠
山本　美愛
淀川　　亮

70 期
稲生　貴子
小野　隆大
加苅　　匠
柴田　大樹
島袋　博之
杉野　文香
鷹谷　信和
富井　和哉
根本 俊太郎
村上　岳優

71 期
足立　敦史
井上　雅照
上林 惠理子
河野　哲平
北本　純子
口元　一平
佐久間 ひろみ
城使　洸司
杉野　龍太
永井　大稀
永田　順子
西川　翔大
西　　祐亮

藤田　圭介
村本　健司
李　　厚潤
脇山　美春
渡辺　　洋

72 期
岩﨑　翔太
川村　遼平
倉橋 香緒莉
才木　晴幹
新　　和章
内貴 梨咲子
中江　友紀
中岡 さつき
中西　教子
中村　伸二
鳴尾　光記
堀ノ内 佳奈
満村　和樹
宮﨑 信二郎
湯浅　彩香
川崎　貴晴

73 期
青木　克也
青木　晶子
有本　喜英
垣岡　彩英
加門　亜弥
公文　　大
田中 萌奈美
徳山　慶太
豊田　夕雪
久井　大輝
松村　隆志

宮崎　佳美
山本 こずえ
森口　楓
江藤　深
下村　美沙

74期
芦田　千佳
荒木 光太郎
神澤　鈴子
齋藤　俊希
佐々木 崇人
鈴木 伸太郎
筒井　秋成
秦　尚輝
藤澤　諒祐
松浦　奨
松村 美母衣
松本　亜土
森　柾樹
岡川　裕貴

75期
片桐 誠二郎
樋野　寛俊
橘田　弥宙
米田　直人
清水　智也
谷口 由里子
中塚　千絵
中村　桂菜
中村　孝宏
深谷　祐
松井　鴻
三橋　和史
森山 ジェニー

76期
池本　亮太
井上　信
植松　峻平
牧田　知広
山口　謙都
小林　悠人
吉川　叶
永田　駿
松田　七海
今野　敬文
南　晴彦
東郷　誠也
山﨑　絢香
吉川　亮太

77期
谷口　真由
廣岡　諒音
北野　光平
森田 愛鈴奈
木多　葵
木村　健
池田　陸哉
横山　寧花
長尾　涼平
秋谷　拓実
上村　聖宜
小槍山　亮
田中　大樹
那須　幸実
徳田　寛生
山田　侑佳
金　慶柱

78期
東　佳穂
有吉　翔希
井上　賢刀
大掛　愛子
海部　夏輝
亀岡　諒大
國増　雄一郎
窪田　航
髙野　壮
米田　宗
島崎　新大
永井　宏武
中上　奈美
中野　晶
那須　知樹
野村　周平
平井　美保
藤野　智陽
藤原　晃大
古谷　彰務
松井　優
松本　幸音
山内　健太郎

（2026年7月31日 現在）